



親子ふれあい教室開催

11月7日(日) 子供13名と親8名が参加しての親子ふれあい教室を開催致しました。今回は岩手県花巻市方面で、昼食は花巻温泉ホテル紅葉館でランチバイキングを食べて、目的地の宮沢賢治生誕100年の記念として建てられた“楽習施設”『宮沢賢治童話村』に行ってみました。ファンタジックホールの他5つのゾーンに分かれている「賢治の学校」、また、ログハウスの展示施設になっている「賢治の教室」にて賢治童話の世界を楽しく学ぶことができました。その後、『宮沢賢治イーハトーブ館』に移動し、賢治作品のアニメ上映の観賞等をとおして親子でふれあうことができました。今回は主に新小路区、新田区の皆さんでしたが次回は他行政区皆さんも参加してみませんか?



男の料理教室 そば打ち体験実施

11月10日(水) 男の料理教室 移動研修会に14名が参加し、宮城県加美郡加美町の『やくらい滝庭の関「駒庄」』で手打ちそば体験を行いました。今回は新そば(そば粉8:つなぎ2)を使いそば打ちを行いました。初めての人も多く、こねて、のばして、切って出来上がりは下の写真で、その後、出来あがった、ざるそばはまず、たれをつけないで風味を楽しみ、その後たれをつけて味わいながら食べるのが良いと教えて頂きました。新そばを美味しく頂きました。天ぷら付きで1000円で体験も出来お得でした。その後、「やくらい薬師の湯」で温泉に入り、ゆっくりとした癒しのそば打ち体験でした。次回は浅部区の須藤昌美さんを先生に、ふれあいセンターで、もう一度、「そば打ち体験その2」を開催することに致しました 皆さんも体験してみませんか? 随時募集!!



総合防災訓練を開催

11月14日(日) コミュニティ運営協議会の総合防災訓練を27名が参加して開催致しました。11月9日(火)から11月15日(月)までの一週間にわたり、平成22年秋季全国火災予防運動が実施されました。これから火災が発生しやすい気候となる時季を迎えることから、皆様に防火に対する意識を一層高めていただき、火災の発生を防止することにより、尊い生命や財産の損失を防ぐことを目的としています。今回の訓練は登米市消防署東出張所からの2名による指導で、ふれあいセンターの通報訓練・避難誘導訓練・煙体験を研修室を使い行いました、その後多目的ホールで救命救護訓練はDVDの説明後、AEDの取扱と応急手当の仕方を実技指導を受けて担架を使った救出訓練等も行いました。特に大事なものは、実際にやって見ることです。頭で判っていても、いざという場合はうまく行かず、万が一の場合に役立たない場合があります。これらから何回もやってみて、身体で覚えて、初めて災害発生時に役立つからです。皆さん、進んで実習に参加しましょう!!



チューリップ球根 2,584ヶ植え付け

11月20日(土) 農村公園の花壇6スパンに区長8名と職員
11名でチューリップの球根 2,584ヶを植えました。当日は天候に
めぐまれて温かい天候で、約2時間位で作業を完了致しました。

今年では球根を購入しないで、全て自種で準備することができました。
植え付けた色は赤・白・黄と混合の4種類です。残った球根は行政
区の必要な所にお渡ししました。

チューリップは毎年、新しい子供の球根が出てきますが、小さな
球根でも、子孫を残すために花をつけ、3年位で大きな球根となり
ます。 皆さん、来春のチューリップの花壇を楽しみにして下さい。



「岩淵良太夫翁頌徳碑文」について

11月19日(金) 前会長 荒木良雄氏より「岩淵良太夫翁頌徳碑 菅野洋編」を、
後世に残すためと写しを「浅水ふれあいセンター」に提供されました。私は内容を
見て、浅水に偉大な功績があった人を、皆さんに知らせておくべきと思い、ここに
紹介することにした。(内容はの中から抜粋いたしました。)碑の中で、岩淵良太夫
翁は宮城県実業界の先覚である。その力を公共共同事業に尽くし、それによって
利用厚生に役立ったことはとても数え切れるものではない。明治41年5月に、第6
回奥羽連合共進会が福島で開催されたが、ここで農商務大臣を賜った。理由は、
以前から心を産業の発達に注いで、私財を投じて米穀の改良を図ったり、農民を
導き助けて、田畑を耕すことや肥培の改善に大いに骨を折って、地方の実業を震
い起すことに寄与したことは顕著なものがあつたからである。また、製糸工場を建
ててもっぱら製糸の改善を図って、その功績は誠に褒めあげるべきである。又

翁は、天性が温良で、節義(節操と道義)を重んじて、以前から殖産や興業につい
て自分の務めとしていた。地方産業の不振を嘆いて、数多く長野、群馬、福島
の諸県を視察して、その得失を研究し、桑園を開き、養蚕講習所を設けて生徒を
育成し、また、自力で製糸工場を経営し、それによってこの業の改良を図った。
登米郡蚕糸業が盛んになったのは、実にその力である。翁が、常に言ったことは、
田を作ることは丁度、我が子のようなものである。これを慈しみ労り、これを教え
戒めたりしなければ、即ち事業の改良や発達を得ることを望んではならないと。

そこで、小作人奨励規定を設け、その都度穀物や豆類の品評会を開いて、優劣を比較し善悪を審按し、論評をして、
公平に賞すること、他所との違いをつけ、これによって、その産出したものは勝れて良く、比べるものがなく、各地品評会
や共進会等の褒賞を受けたものは前後50余回の多きに及んだ。大日本農会も、また、緑白綬有功賞を贈って、その
篤実な行いを表彰した。等あり、大正元年に碑を建てて、後世にこのした、この碑には『徳を以て導きを施したことは、ど
うして1つの村里に止まるものであろうか、同様に風で草がなびいて行くように、遠く四方に及んだ。子孫が繁栄し、暮らし
向きも盛んになり、正しき道をとりに行ったことや良い行いを積んだことは、結果として先祖が善事を行ったことによるの
子孫に及ぶ幸せが残った。牛が横たわっているように山ならどっしりと座り、巖なら陰しくそびえ立ち、神水なら充満した流
れである。これが翁の立派な人格と言えよう。それは正に、山に例えるなら高く気高く美しく、川に例えるなら洋々として永
久不変である』と発起人70名と賛助員777名の氏名が刻まれている。

碑は浅水字長谷山309番地 三浦守氏の居地の後方にあります。 長谷白山神社の鳥居の近く
製糸工場は浅水字長谷山304番地 岩淵俊明氏の居地にあった。
岩淵良太夫翁頌の子孫は新小路区 浅水字下川面43番地 岩淵一氏とのことです。

尚 資料は浅水ふれあいセンターに写しがありますので、来館時に見て下さい。



これからの主な事業・行事

12月

5日(日) 第39回浅水コミュニティまつり

7日(火) しめ縄つくり

8日(水) 男の料理教室

9日(木) 子育て教室

11日(土) 専門部移動研修会



16日(木) 女性講座

1月

13日(木) 浅水六十寿会新春のつどい

19日(水) 男の料理教室

22日(土)~23日(日) 自然体験交流事業(秋田県横手市)

28日(金) 浅水コミュニティ移動研修会

29日(土) 新春懇談会

